



(題字 時澤 貢 学長)

第419号

(平成11年11月号)

11月のトピックス

◇秋晴れの11月13日、開学50周年記念式典、祝賀会を盛大に挙げる◇



▲学歌斉唱 (富山国際会議場)



▲鏡開きで50周年を祝う (富山第一ホテル)



布村幸彦文部省高等  
教育局医学教育課長



佐藤博明  
静岡大学長



中沖 豊  
富山県知事



張 述禹遼寧大学  
党委員会書記



本多正道開学50周年記念  
事業後援会会長 (財富山県経営者協会会長)

## 目 次

関係法令	3	人事異動	16
学内規則		学内諸報	
◆ 富山大学学則の一部改正	3	◆ 第1回富山大学OB・事務系職員懇談会を開催	16
◆ 富山大学水素同位体科学研究センター規則の一部改正	4	◆ 産官学交流フェスティバル“経営者・研究者交流会”を開催	17
諸会議	5	◆ 文部省永年勤続者表彰伝達式を挙行	17
学 事		◆ 教務委員会が特別講演会を開催	18
◆ 開学50周年記念式典・祝賀会を挙行	6	◆ 国立大学の独立行政法人化問題に関する説明会を開催	18
◆ 開学50周年を記念し、全学で多彩な催しを実施	7	◆ 中学生の図書館体験学習等を受入れ	19
◆ 学長式辞	10	◆ 学内レクリエーション「教職員文化展」, 「バドミントン、卓球及びボーリング大会」を実施	19
◆ 文部大臣祝辞	11	◆ 海外渡航者	21
◆ 国立大学協会会長祝辞	12	◆ 外国人来訪者	22
◆ 富山県知事祝辞	13	職員消息	
◆ 日本富山大学開学50周年記念式典祝辞	13	◆ 住所変更	23
◆ 開学50周年記念事業後援会会長祝辞	14	◆ 新任者住所	23
◆ 大連理工大学並びに蘭州大学との学術交流協定を調印	14	◆ 訃報	23
◆ 推薦入学、帰国子女・社会人特別選抜試験を実施	15	主要行事	24
◆ 平成11年度科学研究費補助金の交付決定	15		



▲秋晴れとなった11月13日（富山城址公園）



▲柳田友道元学長の発声により乾杯（11月13日富山第一ホテル）

## 関 係 法 令

- (法 律)
- 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律（141）（平成11. 11. 25 官報号外第229号）
- (規 則)
- 人事院規則 9 - 2（俸給表の適用範囲）の一部を改正する人事院規則（人事院 9 - 2 - 34）（平成11. 11. 25 官報号外第229号）
  - 人事院規則 9 - 6（俸給の調整額）の一部を改正する人事院規則（人事院 9 - 6 - 37）（同上）
  - 人事院規則 9 - 8（初任給，昇格，昇級等の基準）の一部を改正する人事院規則（人事院 9 - 8 - 40）（同上）
  - 人事院規則 9 - 15（宿日直手当）の一部を改正する人事院規則（人事院 9 - 15 - 11）（同上）
  - 人事院規則 9 - 40（期末手当，勤勉手当及び期末特別手当）の一部を改正する人事院規則（人事院 9 - 40 - 16）（同上）
  - 人事院規則14 - 4（営利企業への就職）の一部を改正する人事院規則（人事院14 - 4 - 5）（同上）
  - 人事院規則14 - 8（営利企業の役員等との兼業）の一部を改正する人事院規則（人事院（14 - 8 - 2）（同上）
  - 人事院規則19 - 0（職員の育児休業等）の一部を改正する人事院規則（人事院（19 - 0 - 2）（同上）

## 学 内 規 則

### 富山大学学則の一部改正

#### 富山大学学則の改正理由

- 1 大学設置基準の一部を改正する省令（平成10年文部省令第11号）に基づき，メディアを利用して行う授業について，所要事項を定める。
- 2 中高一貫教育制度の導入に係る学校教育法等の一部改正（平成10年6月26日文初高第475号 文部省初等中等教育局長・文部省教育助成局長通知）に伴い，所要事項を定める。
- 3 学校教育法施行規則の一部を改正する省令（平成10年8月14日文部省令第33号）に基づき，専修学校の専門課程修了者の大学編入学について，所要事項を定める。
- 4 学校教育法施行規則等の一部を改正する省令（平成11年文部省令第19号）に基づき，単位互換並びに大学以外の教育施設等における学修の単位について，所要事項を改める。

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成11年11月26日

富山大学長 時 澤 貢

#### 富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和59年3月12日全部改正）の一部を次のように改正する。

第22条に次の1項を加える。

- 2 前項の規定にかかわらず，大学入学資格を有した後に本学の科目等履修生として一定の単位を修得した者が本学に入学する場合において，当該単位の修得により教育課程の一部を履修したと認められるときは，修

得した単位数その他の事項を勘案して、当該教授会の定める期間を修業年限に通算することができる。ただし、その期間は、修業年限の2分の1を超えてはならない。

第25条第1号中「高等学校」を「高等学校又は中等教育学校」に改める。

第29条第1項に次の1号を加える。

(5) 専修学校の専門課程のうち、文部大臣の定める基準を満たすものを修了した者で、本学に編入学を志願する者

第31条の次に次の1条を加える。

(授業の方法等)

第31条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 学部において、教育上有益と認めるときは、文部大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様な

メディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 卒業に必要な所定の単位数のうち、前項に規定する授業の方法により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

4 前項の規定にかかわらず、卒業に必要な所定の単位数が124単位を超える場合において、当該単位数のうち、第1項に規定する授業の方法により64単位以上修得しているときは、第2項に規定する授業の方法により修得する単位数は、60単位を超えることができるものとする。

第34条第1項及び第3項、第34条の2第2項並びに第35条第3項中「30単位」を「60単位」に改める。

#### 附 則

この学則は、平成11年11月26日から施行する。

## 富山大学水素同位体科学研究センター規則の一部改正

### 富山大学水素同位体科学研究センター規則の改正理由

水素同位体科学研究センター運営委員会の組織の整備を図るため、所要事項を改める。

富山大学水素同位体科学研究センター規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成11年11月26日

富山大学長 時 澤 貢

### 富山大学水素同位体科学研究センター規則の一部を改正する規則

第6条第1項第2号中「教授及び助教授」を「教授、助教授及び講師」に改める。

#### 附 則

この規則は、平成11年11月26日から施行する。

富山大学水素同位体科学研究センター規則（平成11年4月1日制定）の一部を次のように改正する。

**諸  
会  
議****第8回評議会（臨時）（11月15日）**

（審議事項）

- (1) 国立学校設置法等の改正に伴う検討について
- (2) 国立大学の独立行政法人化問題について
- (3) 富山大学の基本目標の項目立てについて
- (4) その他

**第4回授業料等減免選考委員会（11月16日）**

（審議事項）

- (1) 平成11年度後期分授業料免除者の選考について
- (2) 学部及び大学院1年次の後期分授業料免除に係る  
学業成績の取扱いについて
- (3) その他

**第9回評議会（臨時）（11月17日）**

（審議事項）

- (1) 学内検索について

**第10回評議会（臨時）（11月17日）**

（審議事項）

- (1) 学内検索について

**第5回教養教育委員会（11月17日）**

（審議事項）

- (1) 将来計画委員会中間まとめ（教養教育）に係る検討の進め方について
- (2) 教養教育担当教員の配置に関する申し合わせについて
- (3) その他

**第6回事務協議会（11月22日）**

（議 題）

当面の諸課題について

**第2回部局長会議（11月26日）**

（議 題）

- (1) 第11回富山県大学長懇話会について
- (2) 平成12年度科学研究費補助金の申請状況について
- (3) 特別講演会（教務委員会主催）の開催について
- (4) スペース・コラボレーション・システム（SCS）  
事業にかかる富山大学VSAT局の開設について
- (5) 五福地区構内一斉清掃の実施について
- (6) 交通安全一斉指導等の実施結果について
- (7) その他

**第5回大学院委員会（11月26日）**

（審議事項）

- (1) 富山大学，富山医科薬科大学及び富山県立大学との  
単位互換に関する協定書（案）について
- (2) その他

**第11回評議会（11月26日）**

（審議事項）

- (1) 富山大学学則の一部改正について
- (2) 富山大学水素同位体科学研究センター規則の一部  
改正について
- (3) 富山大学，富山医科薬科大学及び富山県立大学との  
単位互換協定書（案）について
- (4) その他

**第5回附属図書館商議会（11月29日）**

（審議事項）

- (1) 次期附属図書館長候補適任者の選定について

学

事

## 富山大学開学50周年記念式典・祝賀会を挙行

本学では、11月13日(土)、学内外の関係者約500人の出席を得て、開学50周年記念式典・記念祝賀会を挙行しました。

富山国際会議場で行われた記念式典では、はじめに時澤学長から、「地域にある国立大学の役割を認識し、生命を尊重する共生の精神、社会と共栄する学術研究の推進、豊かな人間性と創造性を培う教育、地域社会や国際社会への貢献、たゆまざる自己啓発・自己改革を基本理念に、21世紀に個性が輝く富山大学を目指したい」旨式辞があり、続いて、文部省高等教育局布村幸彦医学教育課長から文部大臣祝辞の代読、佐藤博明静岡大学学長から国立大学協会会長祝辞の代読がありました。

引き続き、中沖 豊富山県知事、外国の協定校代表の張 述禹遼寧大学党委員会書記及び本多正道開学50周年

記念事業後援会会長から祝辞があり、その後、文部事務次官等の祝電披露が行われました。

式典終了後、富山第一ホテルで記念祝賀会が開催され、時澤学長の挨拶の後、長勢甚遠衆議院議員、宮腰光寛衆議院議員、大島哲夫富山市教育委員会教育長（富山市長代理）、外国の協定校代表のザイナル アーマド マレイシア工科大学学長補佐、高久 晃富山医科薬科大学学長、大井信一元学長及び中尾哲雄開学50周年事業後援会副会長から祝辞がありました。続いて、来賓による鏡開きが行われ、柳田友道元学長の発声により乾杯し、開学50周年を盛大に祝いました。

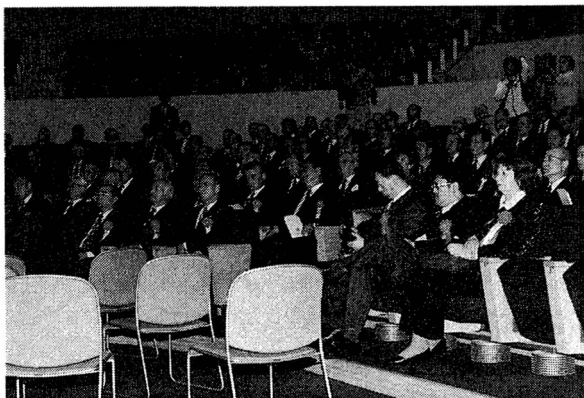
（記念式典における学長式辞、来賓祝辞は、10～14ページに記載）



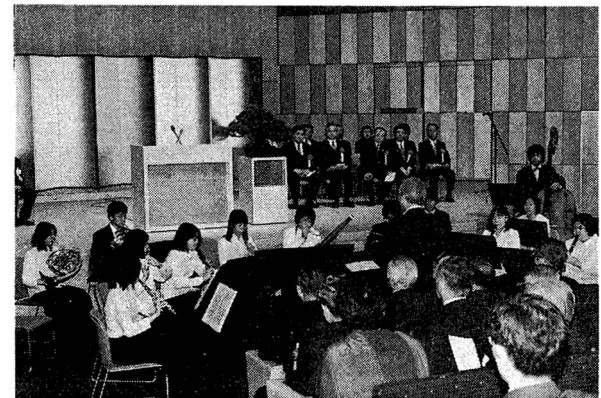
▲記念写真50選（富山国際会議場）



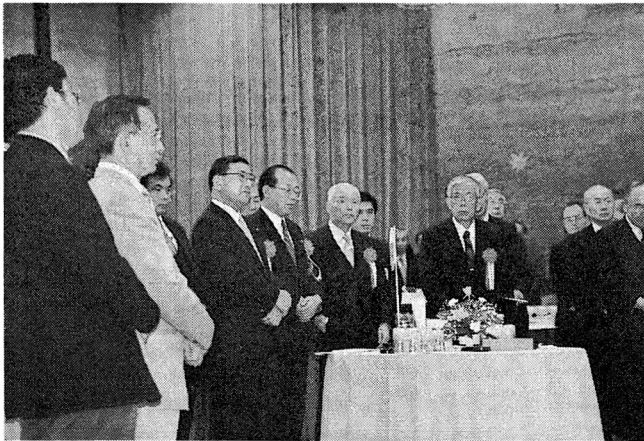
▲式典で配付された「目で見える富山大学の50年」



▲学内外関係者多数が出席（富山国際会議場）



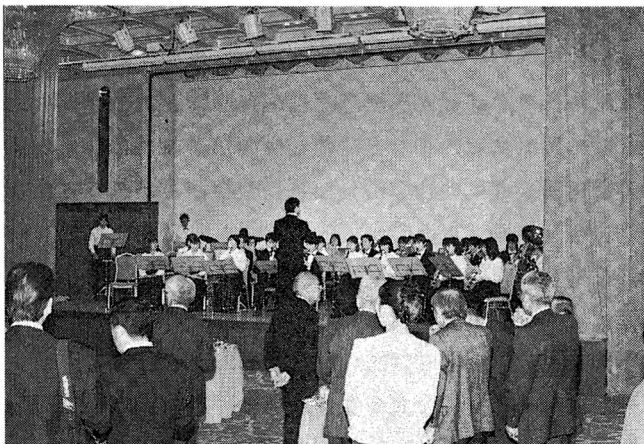
▲フィルハーモニー管弦楽団が祝典曲を演奏（富山国際会議場）



▲地元選出国會議員、大井信一元学長ら  
(富山第一ホテル)



▲右から井上孝美前文部事務次官、時澤学長  
布村幸彦文部省医学教育課長、水上事務局長  
(富山第一ホテル)



▲応援団吹奏楽部の演奏(富山第一ホテル)



▲本学の発展を祈念し万歳三唱(富山第一ホテル)

## 開学50周年を記念し、全学で多彩な催しを実施

開学50周年を記念して、各部局がコンサート、シンポジウム、講演会など多彩な催しを実施しました。その概要は、次のとおりです。

### 親子で楽しむマルチメディアコンサートを開催—教育学部—

教育学部は、11月6日(土)、黒田講堂を会場としてコンピュータを駆使し映像と音楽を合体した「親子で楽しむマルチメディアコンサート」を開催しました。

このコンサートは、情報教育課程マルチメディア芸術専攻の新設に伴い、マルチメディアを生かした音楽教育の研究成果を発表する場として、教育学部の教官、学生、大学院生、大学合唱団、附属幼稚園児、附属小学校児童や同小・中学校木管アンサンブルなど総勢約130人が協力して企画・実施したものです。

コンピュータのバックオーケストラとの合奏、シンセサイザーの演奏とスクリーン映像とのクロスオーバー、

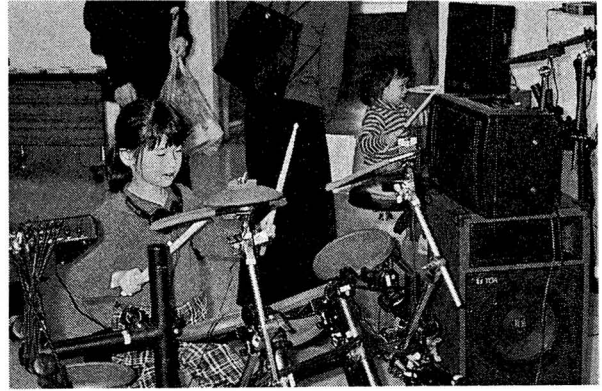
身体の動きで音楽を表現する新しい電子楽器「MIBURI(ミブuri)」の演奏等多彩な音楽が繰り広げられ、会場を埋め尽くした約500人の観衆を魅了、盛んな拍手を浴びました。

また、参加型イベントとして、コンピュータミュージック電子楽器体験コーナーも設置され、多くの親子連れがメディアミックス時代のさまざまな音楽の表現を楽しみました。

なお、このコンサートの模様は、インターネットを通して全世界に発信されました。



▲大ホールで催されたマルチメディアコンサート



▲電子楽器体験コーナーにて

## 平成11年度留学生国際シンポジウム・記念講演会を開催

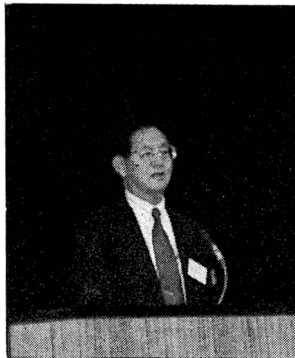
本学は、開学50周年記念事業の一環に文部省の助成を得て、11月8日(月)、9日(火)の二日間にわたり「平成11年度留学生国際シンポジウム・記念講演会」を黒田講堂及び富山国際会議場において開催しました。

シンポジウムは「21世紀の国際交流と留学生の役割」をメインテーマとして、帰国元留学生と日本在住の留学生等との交流会、基調講話(講師 光田明正桜美林大学教授)、帰国留学生からの提言、パネルディスカッションなどを実施しました。

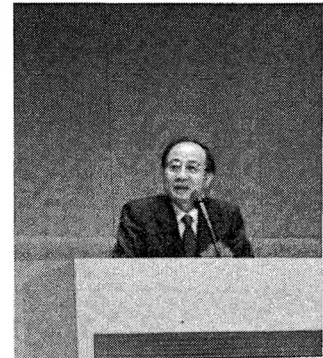
主会場の黒田講堂には、富山県内の大学での学習を終え母国(中国、エジプト、ウクライナ、インド、フィリ

ピン)で活躍中の元留学生7名のほか、県内の大学に在籍している留学生、留学経験のある日本人学生及び県内大学関係者ら多数が出席し、和やかな雰囲気の中、これからの国際交流の在り方や留学生の日本文化に関する意外な指摘などについて活発な意見交換が行われました。

また、9日(火)富山国際会議場で行われた明石康氏(前国連事務次長)の記念講演は「環日本海周辺諸国との交流と日本の役割」と題したもので、講師の豊富な経験を踏まえた的確な国際情勢の分析やこれから日本の果たすべき役割・方向性などの説明があり、出席した一般市民、留学生、大学関係者ら約600人は熱心に聴講しました。

▲基調講話中の  
光田桜美林大学教授

▲帰国元留学生から提言

▲講演中の明石前  
国連事務次長

## 二日間にわたり記念講演会を開催—経済学部—

経済学部では、11月12日(金)経済学部201番講義室を会場として、金光洙韓国江原大学校経営大学長が「21世紀日・韓協力構想と環東海圏開発戦略」と題した講演を行い、この中で21世紀における環日本海経済圏の形成に日・韓両国の一層の経済協力が不可欠であり、そのためにはE.U.のような環日本海経済協力機構の設立が望ましい旨強調されました。

翌13日(土)には、富山国際会議場多目的会議室を会場として、篠原三代平一橋大学名誉教授、文化功労者が「長期不況はなぜ生じたか」と題した講演を行い、この中で1990年代の不況の状況や小渕政権の対不況政策、金融システム安定化のための措置等について分析・提言がありました。両講演会とも多数の教職員・学生及び市民が参加し、熱心に聴講しました。





▲講演中の金光洙韓国江原大学校経営大学長



▲講演中の篠原三代平一橋大学名誉教授

### 「科学と裁判」と題した記念講演会を開催－理学部－

理学部では、11月12日(金)、鈴木敏之東京高等裁判所判事が「科学と裁判」と題した講演を行いました。鈴木判事は、30年近くの間裁判に携わってきた一裁判官の立場から、その仕事内容を具体的に紹介しながら、科学との接点を持つ諸裁判の内容、科学に携わる者が裁判等に関与する場面、更には今日性のある裁判等の状況等について説明されました。会場の黒田講堂会議室には、教職員・学生、市民約100人が出席、熱心に聞き入り、講演終了後も活発な質疑応答が行われました。

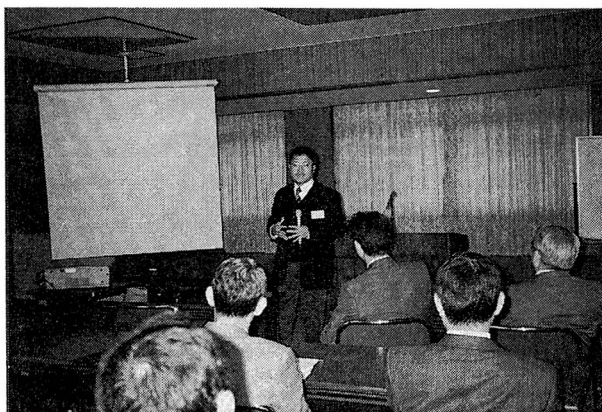


▲講演中の鈴木東京高裁判事

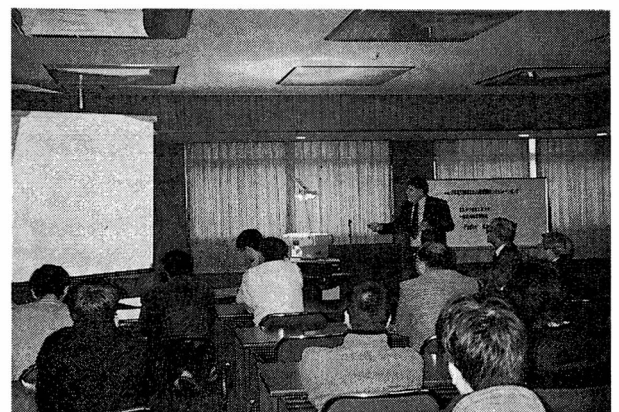
### 記念特別講演会・学術講演会を開催－工学部－

工学部では、11月12日(金)工学部大会議室において、マルヅキ カリダ マレイシア工科大学人工知能・ロボット工学センター長を講師に迎え「ニューロ・ファジー制御システムの新展開」と題した特別講演会を開催しました。また、15日(月)には、カメネッツ フェドル モスクワ物

理工科大学一般及び応用物理学部長を講師に迎え、「木星で観測される渦運動のシュミレーション」と題した学術講演会を大会議室で開催しました。両講演会とも多数の教職員・学生及び企業関係者・市民が参加し、熱心に聴講しました。



▲講演中のマルヅキ カリダ氏



▲講演中のカメネッツ フェドル氏

## 記念植樹及び鋤入式を実施

11月12日(金)午前10時30分から、関係部局長及び各部課長が列席し、学生部前広場において「ノムラモミジ」の記念植樹及び鋤入式が行われました。

当日は、小雨模様不安定な天候となりましたが、時澤学長から挨拶があり、続いて、学長、鈴木人文学部長、能登谷学長補佐、小澤学長補佐及び水上事務局長が鋤入れを行い、無事式を終了しました。



▲鋤入れを行う時澤学長と鈴木人文学部長

## 学 長 式 辞

本日は、記念すべき「富山大学開学50周年記念式典」を開催しましたところご多用の中、文部大臣のご名代として、文部省高等教育局医学教育課長布村幸彦様、国立大学協会代表、富山県選出の国会議員、富山県知事、本学と国際交流協定を締結しております大学の代表者の方々、関係諸団体及び企業経営者をはじめ、多数のご来賓のご臨席をいただき、かくも盛大に挙行できますことは、大学にとって誠に大きな喜びであります。ご出席賜りました皆様に、富山大学を代表し心からお礼を申し上げます。

戦後、我が国の新制国立大学の設置については、大都市集中化を避け、高等教育の機会を全国的に均等化するという理由で1県1大学とする「国立学校設置法」が昭和24年5月に制定され、当時70校の新制大学が発足しました。

富山大学は、今を去る明治から大正の時代にかけて教育、教養、経済、薬学を専門とする4つの学校の設立で発足しました。その間、明治8年(1875年)発足の新川県師範学校は、明治31年に富山県師範学校となり、明治26年(1893年)に発足した(私立)共立富山薬学校は、明治42年(1909年)富山県立薬学専門学校、大正9年(1920年)には富山薬学専門学校となりました。また、大正12年(1923年)には富山県立富山高等学校が、そして大正13年(1924年)には高岡高等商業学校が発足しました。その後昭和の時代に入り、昭和11年(1936年)には富山県立青年学校教員養成所が発足し、さらに昭和19年(1944年)には工業系の高岡工業専門学校が発足しまし

た。

そして昭和24年(1949年)5月31日、「国立学校設置法」の公布により、新制国立富山大学は文理学部、教育学部、薬学部及び工学部の4学部、学生定員690名で発足しました。

その後、昭和51年には薬学部、昭和53年には和漢薬研究所が富山医科薬科大学へ移行し、昭和60年に工学部が高岡市から富山市への移転を終えて、全学部が五福キャンパスに統合しました。そして現在、5学部(人文学部、教育学部、経済学部、理学部、工学部)、4大学院研究科(人文科学研究科、教育学研究科、経済学研究科、理工学研究科)、地域共同研究センター、生涯学習教育研究センター、総合情報処理センター、留学生センター、水素同位体科学研究センター及び保健管理センター等を有する地域に根ざした総合大学となりました。

現在の学生の入学定員は、大学院生を加えて1,700余名;学生数は7,300余名であり、このうち約200名が留学生であります。そして、教職員数は811名となっております。

そして、これまでの50年間に約4万6千余名の卒業生、修了生を送り出し、多数の創造性に富んだ人材が育ち、多くの研究の成果が生まれ、国内外の様々な分野で活躍してきました。これもひとえに、文部省始め、富山県、地元関係諸団体、企業等関係各位のご理解、ご指導、ご支援と深く感謝申し上げますとともに、歴代の学長始め教職員のご努力に対しても感謝と敬意を表する次第です。

しかし、この10数年来我が国は、バブルの崩壊、少子・高齢化、情報化そして科学技術の高度化など、大学を取り巻く状況は、今、大きな変革期を迎えています。

そうした中、新しい世紀へ向け、地域社会や産業界から、国際化社会へのさらなる躍進を促す、独創的、先端的な開発能力を有する人材の育成が大学に期待されています。

富山大学は、これまで教育研究組織の改革など積極的に取り組んできましたが、この開学50周年を契機に、本学に対する社会のニーズに対応して果たしてきた、そしてこれから果たすべき役割を明確にすべきであると考えております。そこで、まず、地域にある国立大学の役割として、

1. 高等教育の拡大による人材育成の量と質の向上
2. 学術・文化・経済等の中央と地方との格差是正
3. 世界に繋げる地域社会づくり

と認識し、これらの3つの大学機能を的確にとらえ、目的を達成するために、富山大学は今年3月評議会において、5つの大学の基本理念を決定しました。

1. 生命を尊重する共生の精神
2. 社会と共栄する学術研究の推進
3. 豊かな人間性と創造性を培う教育
4. 地域社会や国際社会への貢献
5. たゆまざる自己啓発・自己改革

この基本理念を来る21世紀の道標としました。

さらに、地域との連携で進める国際貢献としては、本日の50周年記念のコンセプトとしている、「富山大学の文化を世界に 豊かな科学技術で環日本海未来創造を」を目指しています。

そして、今回の50周年を単なるお祝いにすることなく、意義あるものとするべく、数々の国際的な講演会、シンポジウム等を開催し、大学の国際的通用性の向上を図るための意識の高揚、知的国際貢献の発展と新たな留学生施

策を主たる記念事業としています。国際交流については、現在の5か国12大学との学術交流協定をさらに進め、単なる形式にとどまらず相互交流により大きな成果を上げるような定期的な国際交流推進事業を主計画としていきます。

また、地域に開かれ、地域に根差した高等教育機関として、社会と共栄する学術文化の向上により、産官学の連携促進によるベンチャー企業の創成、豊かな人間性を培う生涯学習機会を提供し、21世紀には個性に輝く大学として発展できるよう、一層の改革に努めてまいります。

今回の記念事業は、極めて厳しい経済環境にありながら、富山県、近県の各企業や団体、同窓会、その他、多くの方々からの暖かいご寄付を頂戴しての実施であります。

特に、21世紀への国際化に向けて、学生、研究者の国際交流を支援する「研究者及び留学生の受入れ・派遣を主とする事業」の充実及び図書館の充実であり、所期の目標が達成できますことを念願し、この席をお借りして、心から深くお礼を申し上げます。

富山大学は、富山県の中心街に位置し、人文社会系、自然科学系の学部を有する総合大学です。学際領域が急速に発展し、従来の学問分野の境界がなくなりつつあります。これからは専門分野を越えて、その特色を生かして、地域に根差して、地域から愛され、親しまれ、開かれたアカデミックキャンパスプランに取り組み、教育・研究・社会貢献を柱とした環日本海拠点づくりとして新たな飛躍を進めてまいります。

最後になりましたが、ここにご列席の皆様のご多幸と変わらぬ暖かいご支援とご鞭撻を賜りますよう切にお願いして私の式辞といたします。

平成11年11月13日

富山大学長 時 澤 貢

## 文 部 大 臣 祝 辞

本日、ここに、富山大学開学50周年記念式典が挙行されるに当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

本学は、昭和24年の学制改革により富山大学として新たに発足して以来、今日まで充実した教育研究を展開してこられました。

この間、有為な人材を各界に輩出し、優れた教育研究実績を挙げられ、我が国社会の発展に大きく貢献してこられました。特に、近年、地域との連携協力を促進する

と同時に、諸外国との学術・文化に関する国際交流の推進を積極的に図っておられると伺っております。

本学が開学50周年を迎えられることは、誠に喜ばしいことであり、歴代の学長をはじめ、教職員皆様のご努力に対し、心から敬意を表する次第であります。

さて、我が国の高等教育については、来る21世紀における大学のあるべき姿を明らかにし、そのための改革方策を実施に移していくことが大きな課題となっております。

す。特に国立大学については、その果たすべき役割への期待が高まる一方で、そのための積極的な改革が強く求められております。

現在、本学におかれても、様々な工夫をこらした大学改革を進められておりますが、このような大学改革は一朝一夕にして実現されるものではなく、関係者のたゆみない努力の積み重ねによって可能となるものであります。

今後とも、本学がこれまでの輝かしい実績を踏まえつつ、ますます教育研究の実をあげられ、その真価を発揮されますよう、一層のご尽力を期待するものであります。

## 国立大学協会会長祝辞

本日、富山大学開学50周年記念式典が挙行されるに当たり、国立大学協会を代表してお祝いの言葉を申し上げます。

貴学は、富山県に設置されていた高等教育機関を統合し、新制国立大学の一つとして昭和24年に発足いたしました。貴学の今日までの半世紀間は、我が国における戦後復興とそれに続く高度経済成長という、我が国の社会と文化の発展・変貌の時と、歩みを共にするものでした。

貴学が、歴代の学長をはじめ教職員ご一同の不断の努力と、先輩や地元関係者のご理解とご協力によって、開学以後50年の間に、我が国における有力な総合大学に発展されましたこと、また、教育と研究の両面にわたって、優れた成果を挙げられ、幾多の優秀で指導的な人材を輩出してこられたことは、誠に喜ばしいことであります。

貴学が、その組織において、教育と研究の高度化に対応すべき体制を着々と整備されるとともに夢大学 in TOYAMA や公開講座の実施による大学の開放、共同研究等による地域社会との連携、外国の大学との学术交流の推進、留学生の受け入れや学生の海外研修の実施による国際交流の活性化等、教育と研究の両面における多様な試みに積極的に取り組まれておられることに、深く敬意を表します。

また、貴学が、それらの活動について、不断に点検と評価を実施されて、改革への努力を惜しまれない姿の中に、大学が向かうべき方向が窺われて、示唆的です。

今日の我々の社会は、多くの面において根本からの改

終わりに、ご臨席の皆様方におかれましても、これを契機に本学に対し、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、本学のますますのご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成11年11月13日

文部大臣 中曾根 弘 文  
(代読 文部省高等教育局医学教育課長 布村 幸彦)

革を迫られております。改革の緊急性において大学も例外ではありません。そもそも、教育と研究が、創造性に基づく不断の自己変革であるとするれば、むしろ、社会に先駆けて、自らの存在を問い直し、自己改革に取り組むことが、大学の使命であります。

環境問題、エネルギー問題、あるいは人口爆発や民族紛争など、人類の生存にとって危機的な問題の解決を、来るべき21世紀に委ねなければならない今日、大学は、未来の社会を担い、これらの問題を解決する主体的・個性的な人材を養成するとともに人類の文化と福祉の増進に寄与する真に創造的な学術研究を切り拓いていくことが求められております。

貴学が、この意義深い50周年を機として、新しい世紀を視野に入れた理念に基づき、教育と研究の両面において、なお一層の発展を遂げられ、内外の期待に応えらると共に、大学の使命を全うされるよう祈念いたします。

世紀の変わり目における貴学の開学50周年記念が、同時に、可能性に満ちた輝かしい新たな次の半世紀への出発であることを確信いたしまして、私の祝辞とさせていただきます。

平成11年11月13日

国立大学協会会長 蓮 實 重 彦  
(代読 静岡大学長 佐藤 博 明)

## 富山県知事祝辞

立山連峰の新雪が美しい季節となりましたが、本日、多くのご来賓の皆様方のご臨席のもと、富山大学開学50周年記念式典がこのように盛大に開催されますことは、誠に喜ばしい限りであり、富山県民を代表いたしまして、心からお祝い申し上げます。

貴大学は、昭和24年5月に県内唯一の総合大学として設置されて以来、半世紀にわたり本県の高等教育や学術研究における中核的な役割を担っておられます。さらに、海外の大学との学術交流協定の締結や国際交流会館の建設など、活発な国際交流を展開しておられます。また、産学共同研究や各種公開講座の開催に積極的に取り組まれ、地域に開かれた大学としてご貢献いただいております。

ここに、歴代学長をはじめとする教職員の皆様のご熱意とご努力、並びに文部省はじめ、関係各位のご尽力に対しまして、心から敬意を表する次第であります。

貴大学では、これまで4万6千余名の卒業生を世に送り出されておりますが、これらの方々には各方面にわたり多彩なご活躍をされているところであります。今後とも貴大学が、優秀な人材の養成、高まちな学術研究、地域への社会貢献などを進められ、大いに発展飛躍されるこ

とを期待しております。

富山県はいま、「人材立県」「生活立県」「国際立県」の三つの立県構想を掲げ、「しあわせに生きる富山県の創造」に全力をあげて取り組んでいるところであります。今日、本県は全国でもトップレベルの「住みよい県」として高い評価を受けていますが、これからは、さらに「住みたい県」として発展させていかなければなりません。そして、こうした県づくりを進めていくうえで根本となるのは「人づくり」であると考えております。

貴大学におかれましては、新世紀における「人づくり」を担っていただき、富山県の発展のため一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、富山大学が、今後限りなく発展され、輝かしい伝統を築いていかれますとともに、本日ご臨席の皆様方の一層のご健勝、ご活躍、ご多幸をお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。

平成11年11月13日

富山県知事 中 沖 豊

## 日本富山大学開学50周年記念式典祝辞

尊敬する時澤 貢学長

尊敬する富山大学教員各位 学生各位

尊敬する富山県庁関係者各位 来賓各位

富山大学開学50周年記念式典にあたり、友好姉妹校の代表といたしまして、また、遼寧大学の教職員及び学生を代表いたしまして、富山大学時澤 貢学長並びに全校の教員、学生の皆様に対し、謹んで熱烈にお祝いを申し上げます。

富山大学は日本の著名な国立大学の一つであり、50年間の奮闘と何代にもわたる関係者の皆様の勤勉なる努力の結果、専攻分野は充実し、科学研究も確固たる基礎を持ち、著名な研究者が多数所属され、教育の質も極めて優秀な、強い競争力を備えた総合大学となりました。我々は富山大学が育成してこられた人材と科学研究方面における成功に対し、衷心よりお祝いを申し上げますとともに、富山県庁の有識者各位及び富山大学歴代の学長

先生及び教師学生の皆様に崇高なる敬意を表するものであります。

日中両国は「一衣帯水」の友好国であり、悠久たる友好の伝統を持っております。富山大学と遼寧大学は1986年に早くも友好姉妹校関係を結び、それから十数年にわたり、両校は学術交流、共同研究、研究者交流、学生交流などにおいて重要な発展を遂げて参りましたが、その間、貴校の良好なる学風と堅実な科学研究、熱烈な支持と入念な協力は遼寧大学の関係者に深い印象を残しました。双方の友好交流は高等教育事業の推進と日中友好関係の深化に重要な役割を果たしてきたのであります。ここに、私は時澤 貢学長及び富山大学の関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

新しい世紀を迎えるこの時期に、人類社会はまさに平和と発展の達成にむかって奮闘努力しているところであります。世界中で科学技術革命は深い段階への発展を続けており、人類の進歩は高等教育に対して挑戦し、また

チャンスを与えてもおります。このため、世界中の高等教育界が友好を発展させ、交流を密にし、協力を深めることにより、共同で科学技術革命と人類の進歩に適した高等教育のモデルと人材養成機構を探求する必要があります。人類の進歩と発展のために、知力、科学技術、人材による協力を行うことが、世界の平和と発展に貢献す

ることになるからであります。

1999年11月13日

遼寧大学党委員会書記 校務委員会主任

張 述 禹

## 開学50周年記念事業後援会会長祝辞

本日、ここに、富山大学開学50周年記念式典が挙行されるに当たり、一言お祝いを申し上げます。

開学以来これまでの間、大学の運営と発展にご尽力されてこられました歴代の学長先生並びに、諸先生方、そして職員の皆様、さらには、卒業生や、在学生の皆様に対し、衷心から敬意を表したいと存じます。

昭和24年に富山県をはじめとする地元関係者の強い要望で、発足しました富山大学が開学50周年を迎えられるに当たり、私ども地元関係者が中心となって、その充実・発展のため富山大学の開学50周年を支援するのが務めではなかろうかと考え、誠に僣越ながら富山大学開学50周年記念事業後援会の会長をお引き受けいたしました次第でございます。

富山大学は、私どもの期待どおり、発足して以来、4万余人の卒業生を送り出し、これら卒業生は、社会の各界各層で活躍しておられます。また、地域に根ざした大学として、地元企業との共同研究で多くの輝かしい実績を上げておられるとともに、公開講座や大学の施設開放等、積極的に地域社会のために、永年にわたり多大なる

貢献をなされてこられましたことに対し、改めて敬意を表します。

私どもが21世紀を目前にして、将来の富山大学に大いに期待したいことは、開学50周年という記念すべき年を機に、更なる研鑽を積まれ、地域に根ざし開かれた大学として、教育・文化・産業の発展の拠点として寄与されるとともに、国際化が進展する中で、諸外国の大学との間で、教育・学術研究等の交流を一層推進し、国際交流活性化の推進を図り、真にグローバル・スタンダードに値する大学として、力強く邁進されることを記念するものであります。

終わりに、富山大学の益々のご発展と、ご臨席の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉いたします。

平成11年11月13日

富山大学開学50周年記念事業後援会会長

本 多 正 道

## 大連理工大学並びに蘭州大学と大学間学術交流協定を締結

本学は、11月11日(木)に中華人民共和国の大連理工大学と、翌12日(金)には蘭州大学と学術交流協定を締結しました。学長室で行われた協定調印式には、時澤学長をはじめ学長補佐、各学部長、附属図書館長及び事務局長が出席し、大連理工大学肖副学長、蘭州大学鄭副学長とそれぞれ協定書を取り交わしました。

今回の締結は、昨年、時澤学長が大連理工大学を、水上事務局長が蘭州大学を訪問したことがきっかけとなり準備が進められてきたもので、今後は本協定に基づいて教員・学生の交流、共同研究の実施及び学術出版物等に

よる情報交換を主な柱として相互交流を進めることとなります。

大連理工大学は、1949年に設立された物理、工業及び環境科学などの理工系大学であり、また、蘭州大学は、1909年に設置された3学院、22学部45学科及び35研究所を持つ総合大学で、いずれも中国国家教育委員会直属の大学とされています。

なお、この締結により、本学の大学間協定校は5大学となりました。



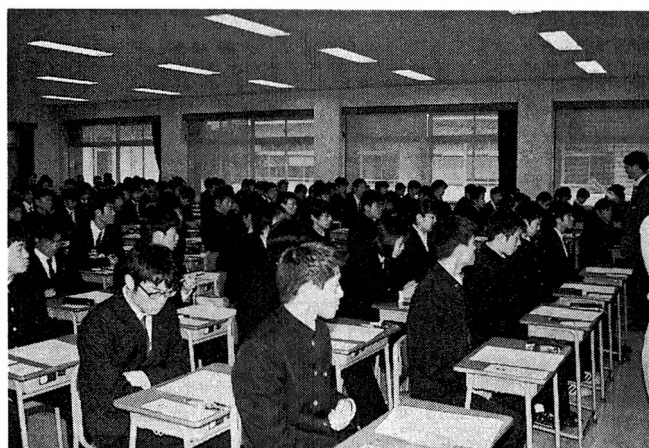
▲協定書を取り交わす時澤学長（左）と  
大連理工大学の肖副学長（右）



▲蘭州大学の鄭副学長（前列右）  
を囲み記念撮影

## 推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜入学試験を実施

平成12年度推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜入学試験（人文学部推薦入学試験を除く。）が，去る11月24日（水）全学部で実施されました。募集人員237人に対し520人の志願がありましたが，試験当日は516人が受験しました（欠席者4名）。この試験の合格者発表は12月3日（金）に行われます。



▲試験開始を待つ受験生（工学部検査場）

## 平成11年度科学研究費補助金交付決定者一覧

研究種目	研究代表者			研究課題	交付決定額	配分予定額		
	所属	職	氏名		平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
特定領域研究(B)(2)	教育学部	教授	竹内 茂弥	自然環境下でのプラスチックの生分解性評価	千円 4,100	千円 3,200	千円	千円

# 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	11. 12. 1	高野智恵美		事務補佐員（人文学部・理学部）
昇 任	〃	山口 昌樹	助手 東京農工大学 大学院生物システム応用科学研究科	助教授 工学部（物質システム工学科生命工学）
退 職	〃	高野智恵美	事務補佐員（庶務部庶務課）	平成11年11月30日限り退職
死 亡	11. 11. 28	辰巳 昭典	教 授 教育学部（音楽教育）	死亡（公務外）

# 学 内 諸 報

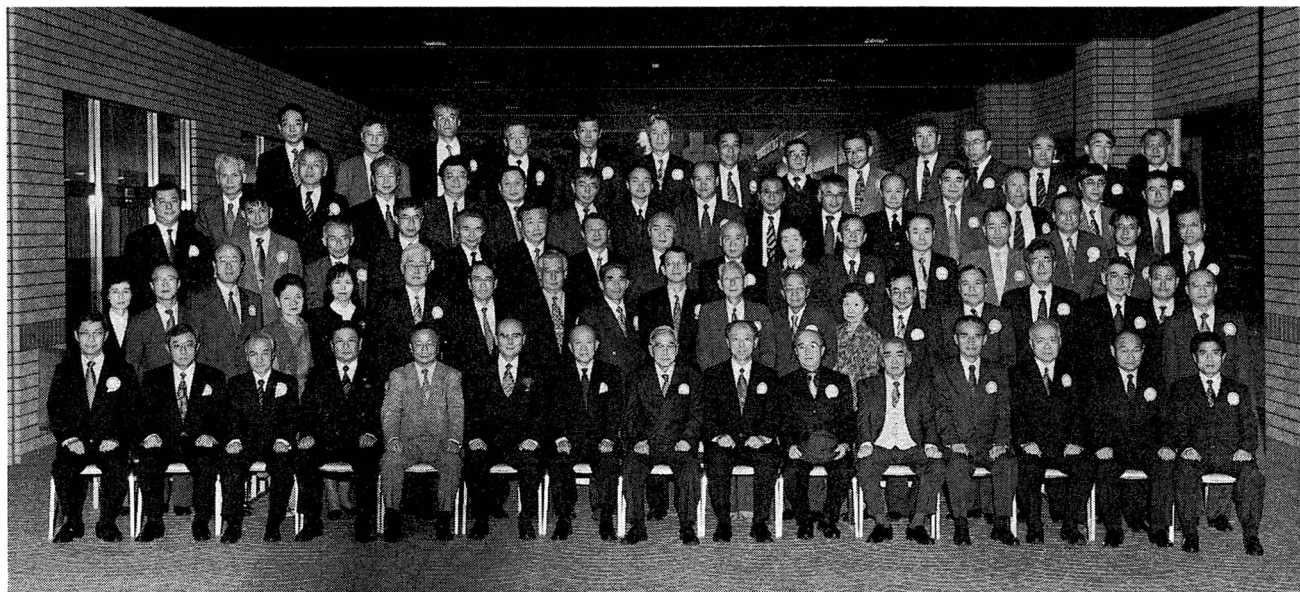
## 第1回OB・事務系職員懇談会を開催

本学では、開学50周年を契機にOB・事務系職員懇談会を発足させ、開学50周年記念式典が挙行された11月13日(土)、富山県民会館において、OB44人、現職36人合計80人の出席を得て、第1回の懇談会を開催しました。

開会にあたり、水上事務局長から、この会の設立経緯の説明と大学の近況報告があり、次いで泉元事務局長及

び早崎元事務長から、在職中の様々な思い出が披露されました。続いて、昨年秋に叙勲を受賞された西村元事務局長にお祝いの花束を贈呈した後、菊地前事務局長の発声により乾杯し、懇談に入りました。

参加者は、懐かしい顔ぶれと時間を忘れて旧交を温めあい、1年後の再会を約束していました。



▲OB・事務系職員80名で記念撮影



## 産官学交流フェスティバル “経営者・研究者交流会” を開催

地域共同研究センターでは、11月17日(水)工学部において産官学交流フェスティバル「第13回経営者・研究者交流会」を開催し、経営者・研究者等210名が参加しました。

この交流会は、民間企業の経営者・研究者及び県内の高等教育機関、公設試験研究機関の研究者が一堂に会し、お互いの研究テーマの紹介や情報交換を行い、産官学の共同研究の推進を図ることを目的に毎年開催されているものです。

当日は、女川センター長からの開会挨拶の後、トップ講演会が行われました。(株)不二越取締役会長の本多正道氏による「企業の生き残りをかけて」と題した講演は、最近の景気動向と実感及び生き残りをかけ‘勝ち組’に

入るための企業努力・経営努力等の実践を交えた内容で、経営者・研究者が熱心に聞き入り、講演終了後も活発な質疑応答が行われました。

引き続き、「電子デバイス・情報処理」、「メカトロ・加工技術」、「新素材」、「バイオサイエンス」、「産学連携推進セッション」の五つの分科会に分かれて、企業の研究者や大学教官などから15のテーマについて研究成果の発表が行われ、各分科会とも熱心な意見交換が行われました。

なお、分科会終了後の懇親会においても、産官学の連携推進のための情報交換等が活発に行われ、参加者は相互理解を深めていました。



▲講演中の本多会長



▲「電子デバイス・情報処理」分科会の模様

## 平成11年度文部省永年勤続者表彰伝達式を挙行

平成11年度文部省永年勤続者表彰伝達式が、11月24日(水)に学長室において執り行われました。

伝達式では、事務局長、庶務部長、経理部長、人事課長及び経理課長が列席する中、時澤学長から被表彰者に対し表彰状と記念品が贈られました。

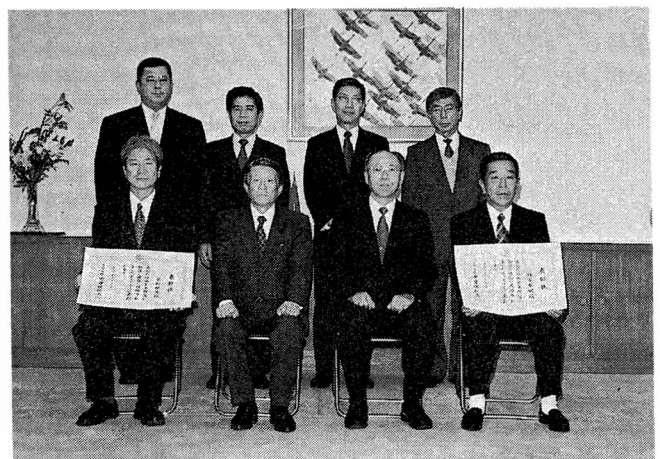
記念撮影後、局長室において被表彰者を囲む懇談会が開催され、永年の労をねぎらい和やかな懇談が行われました。

なお、表彰された方々は次のとおりです。

(20年勤続者表彰)

事務局 施設課長 芋野 昭作  
 〃 経理課課長補佐 刈賀 春樹

(以上2名)



▲記念撮影(前列左から、芋野施設課長、時澤学長、水上事務局長、刈賀経理課課長補佐)

## 教務委員会主催による特別講演会を開催

教務委員会は、11月25日(木)午後1時30分から、原島茂 C I Cカナダ国際大学理事を講師に迎え、特別講演会を開催しました。原島理事は、「大学における外国語教育の方向性について」と題した講演を行い、その中で、カナダ国際大学の設立目的やスキルとしての外国語教育の実施とその効果などを経験を交えて説明されました。会場の黒田講堂会議室には、教職員65名が出席し、熱心に聴講しました。



▲講演中の原島理事

## 国立大学の独立行政法人化問題に関する説明会を開催

11月25日(木)午後3時から、国立大学の独立行政法人化問題に関する説明会が開催されました。

この説明会は、喫緊の事項となっている大学の独立行政法人化問題を、時澤学長自ら教職員に説明するため企画されたもので、会場の経済学部201講義室には教職員約180名が出席しました。

時澤学長からは、「国立大学の独立行政法人化の検討の方向」(平成11年9月20日文部省)などを資料として、11月17日(木)、18日(木)の国立大学協会総会における議論など最近の情勢を交えて事項別に説明があり、出席した教職員と活発な質疑応答を行いました。



▲教職員多数が出席した説明会(左)説明を行う時澤学長(右)

## 中学生の図書館体験学習等を受入れ—附属図書館—

附属図書館では、富山県教育委員会が今年度から推進している体験学習事業「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」に協力し、11月16日から4日間、6名の中学生を受入れました。

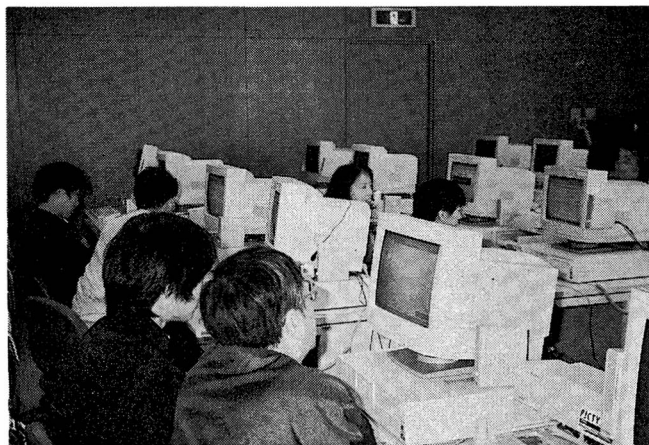
この事業は、生徒達が体験学習を通じて自分の良さや可能性を発見することを目的としており、富山市立西部中学校から附属図書館に対し受入要請があったものです。

附属図書館が準備した学習内容は、ヘルン文庫などの館内見学、図書の受入れ、カウンターサービス、オンラインによる図書検索等多岐にわたるものでしたが、生徒達は連日朝8時半から午後5時まで充実した体験学習を行いました。

なお、近年、学校における情報教育の充実が図られているせいか、生徒達は、図書館の情報システムに大きな関心を示していました。

また、附属図書館は、引き続いて11月22日から5日間、近畿大学通信教育部の依頼により図書館実習生1名を受入れ、指導を行いました。

この二つのケースは、図書館職員にとっても日常業務を見つめ直す機会となり、「教うるは学ぶの半ば」(書経)を実感させられ大変有意義なものとなりました。



▲中学生に端末機操作を指導する図書館職員

## 学 内 レ ク リ エ ー シ ョ ン

### 教職員文化展を開催

平成11年度教職員文化展が、11月10日(水)から12日(金)までの3日間黒田講堂で開催されました。本文化展は、毎年、教職員及びその家族に出品を呼びかけ催されているもので、今年度は53名の方から、書、絵画、盆景、盆栽など80数点の作品が展示されました。

期間中は、教職員のほか市民、学生が大勢訪れ、多くの個性ある作品を鑑賞しました。



▲作品を鑑賞する教職員(黒田講堂会議室)

## 学内バドミントン大会を開催

平成11年度学内バドミントン大会が、11月6日(土)第一体育館で開催されました。試合は団体戦で行われ、まず7チームが2グループに分かれて予選リーグを戦い、その後各グループの1位チームが決勝戦を、2位チームが3位決定戦を行いました。

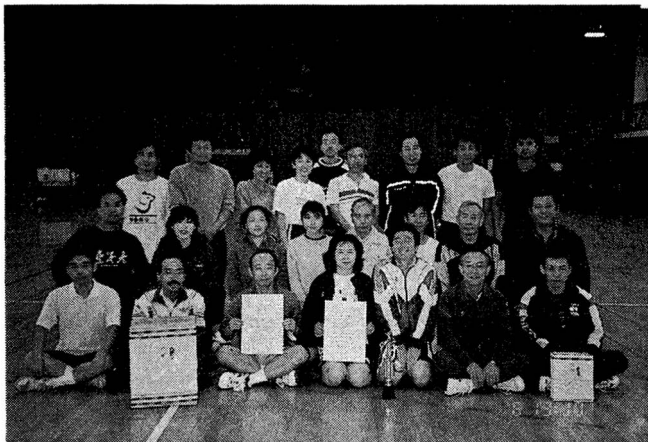
今大会は男子34名、女子11名の計45名が参加し、白熱した試合を繰り広げた結果、教育学部チームが優勝しました。

なお、入賞チームは次のとおりです。

優勝 教育学部チーム

次勝 工学部チーム

3位 学生部チーム



▲試合終了後、記念撮影（第一体育館）

## 学内卓球大会を開催

平成11年度学内卓球大会が、11月19日(金)第二体育館で開催されました。今大会は男子28名、女子12名の計40名が参加し、晩秋の夜に心地よい汗を流しました。

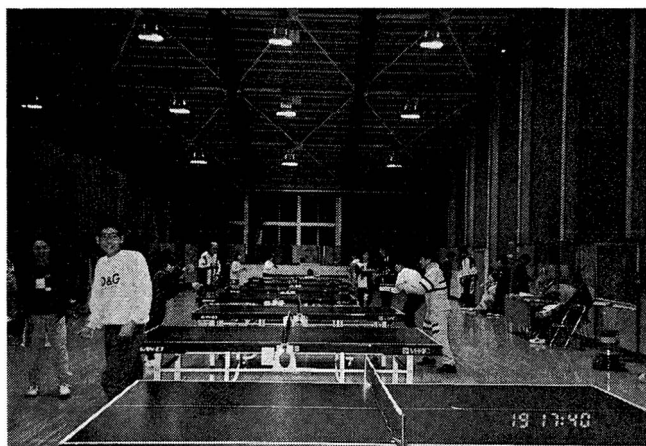
参加6チームが予選リーグ、決勝トーナメントを行った結果、教育学部チームが優勝しました。

なお、入賞チームは次のとおりです。

優勝 教育学部チーム

次勝 本部チーム

3位 工学部Aチーム



▲試合開始前のひととき（第二体育館）

## 学内ボーリング大会を開催

平成11年度学内ボーリング大会が、11月22日(月)富山ゴールデンボウルで開催されました。

大会には、男子54名、女子22名合計76名が参加、各自2ゲームを行い、団体戦と個人戦で合計点数を競い合いました。

競技中、ストライクを投じたチームからは大きな歓声があがり、スベアを逃したチームからは落胆のため息が出るなど、各チームとも初冬の寒さを忘れてゲームを楽しみました。

なお、成績は次のとおりです。

### ◎団体戦

優勝	工学部Aチーム	1218点
次勝	人文学部・理学部チーム	1172点
3位	経理課Aチーム	1133点

### ◎個人戦（男子）

優勝	堀田 裕弘（工学部）	355点
次勝	山西 潤一（総合情報処理センター）	336点
3位	三井 隆志（工学部）	335点

## ◎個人戦（女子）

優勝	長崎 宏美（人文学部・理学部）	266点
次勝	寺林 真佐美（工学部）	248点
3位	京極 真由美（工学部）	245点



▲始球式でボールを投じる能登谷学長補佐

◎ 海 外 渡 航 者 ◎

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	附属養護学校	教諭	高野久子	ハオドフメ ンイラキ ガツラカ リ連シ合 ニア邦ス コ国	平成11年度国立大学・学部附属学校等教官海外教育事情等視察	11. 11. 1 ) 11. 11. 26
	人文学部	助教授	竹内 潔	アメリカ合衆国	アメリカ人類学会1999年度大会に出席，研究発表	11. 11. 14 ) 11. 11. 23
	教育学部	教授	佐藤幸男	オーストラリア	オーストラリア・アフリカ研究集会に出席，資料収集	11. 11. 24 ) 11. 12. 1
	工学部	教授	井上正美	中 国	第9回International Symposium on Fine Chemistry and Functional Polymers (FCFP-IX) に出席，研究発表	11. 11. 26 ) 11. 12. 4
海外研修	工学部	助教授	河原田 淳	オーストリア	欧州医用生体工学会議に出席	11. 11. 3 ) 11. 11. 9
	経済学部	教授	酒井富夫	チエコ オーストリア	農業の企業形態と土地所有制度に関する現地調査	11. 11. 10 ) 11. 11. 22
	工学部	助教授	星野一宏	タイ	第5回アジア太平洋生物工学会議に出席，研究発表	11. 11. 12 ) 11. 11. 19
	経済学部	助教授	岩内秀徳	ブラジル	在ブラジル日系企業の海外事業展開に関するヒアリング調査，資料収集	11. 11. 13 ) 11. 11. 28
	工学部	助手	喜久田寿郎	シンガポール	熱物性国際会議TPPM99に出席，発表	11. 11. 16 ) 11. 11. 22
	工学部	助教授	諸橋昭一	中 国	第9回FCFP国際シンポジウムに出席	11. 11. 26 ) 11. 12. 4

(外) (国) (人) (来) (訪) (者)

氏 名 ( 国 籍 )	本 国 に お け る 所 属 機 関 ・ 職 名	来 訪 目 的	期 間
チヤン シューユイ 張 述 禹 (中 国)	遼寧大学党書記兼校務主任, 教授	開学50周年記念式典に出席	11. 11. 10 ) 11. 11. 24
リー ヤンキウ 李 彦 学 (中 国)	遼寧大学外事処国際交流科長, 副 教授	開学50周年記念式典に出席	11. 11. 10 ) 11. 11. 24
ザイナルアビディンビンアームド Zainal Abidin bin Almad (マレーシア)	マレーシア工科大学学長補佐	開学50周年記念式典に出席	11. 11. 10 ) 11. 11. 18
マルヅキ カリダ Marzuki Khalid (マレーシア)	マレーシア工科大学人工知能及び ロボット工学センター長	開学50周年記念式典に出席及び講演	11. 11. 10 ) 11. 11. 18
カメネッツ フェドル Kamenets Fedor (ロシア)	モスクワ物理工科大学一般及び応 用物理学部長, 教授	開学50周年記念式典に出席及び講演	11. 11. 10 ) 11. 11. 17
カメネッツ ニーナ Kamenets Nina (ロシア)	モスクワ物理工科大学大学広報編 集室長	開学50周年記念式典に出席	11. 11. 10 ) 11. 11. 17
ヂェン ショウジン 鄭 暁 静 (中 国)	蘭州大学副学長	開学50周年記念式典に出席	11. 11. 10 ) 11. 11. 17
ショウ ホンジュン 肖 洪 鈞 (中 国)	大連理工大学副学長	開学50周年記念式典に出席	11. 11. 10 ) 11. 11. 14
キム カンスウ 金 光 洙 (大韓民国)	江原大学校経営学学長	開学50周年記念式典に出席及び講演	11. 11. 12 ) 11. 11. 15
ヴィジャイ クマール コーシック Vijay Kumar Kaushik	インド石油化学コーポレーション 研究開発部長	平成11年度国際シンポジウムに出席 及び講演	11. 11. 6 ) 11. 11. 16
クイ ウエイミン 呉 為 民 (中 国)	株式会社理学中国営業部主事	平成11年度国際シンポジウムに出席	11. 11. 7 ) 11. 11. 10
ユーリヤ ザモルスカヤ Julia Zamorska (ウクライナ)	ウクライナ日本センター秘書	平成11年度国際シンポジウムに出席 及び講演	11. 11. 6 ) 11. 11. 15
マンガオドミナドルディゾン Mangao, Dominador Dizon (フィリピン)	A. Montes II 小学校校長	平成11年度国際シンポジウムに出席	11. 11. 5 ) 11. 11. 12
コ ホウ 胡 澎 (中 国)	中国社会科学院助理研究員	平成11年度国際シンポジウムに出席 及び資料収集	11. 11. 4 ) 11. 11. 11
オラ アハメド ヘイカル Ola Ahmed Heikal (エジプト)	ナショナルリサーチセンター講師	平成11年度国際シンポジウムに出席 及び資料収集	11. 11. 5 ) 11. 11. 13
メン リ 孟 莉 (中 国)	東北大学プロジェクト管理部長	平成11年度国際シンポジウムに出席 及び資料収集	11. 11. 5 ) 11. 11. 11

# 職 員 消 息

## 《住所変更》

部 局	職	氏 名
教 育 学 部	教 授	佐々木 浩
経 済 学 部	事 務 長	角 井 與志雄
理 学 部	助 教 授	宮 澤 真 宏
附 属 図 書 館	文部事務官 (情報サービス係)	角 井 繁 子
〃	事務補佐員 (情報サービス係)	浜 浦 真由美

## 《新任者住所》

部 局	職	氏 名
人 文 学 部	講 師	高 橋 浩 二

## 訃 報

10月から11月にかけて、名誉教授お一人と現職お二人がお亡くなりになりました。  
 ここにご報告するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます



加藤 正 氏  
 (名誉教授)  
 10月24日逝去  
 享年85歳



近堂 和郎 氏  
 (理学部助教授)  
 10月4日逝去  
 享年64歳



辰巳 昭典 氏  
 (教育学部教授)  
 11月28日逝去  
 享年50歳

# 主 要 行 事

## 本 部

- 11月2日 新樹寮防火避難訓練  
 4日 第2回学園ニュース編集委員会  
 4～5日 東海・北陸地区国立学校等安全管理協議会  
 (とやま自遊館 本学当番)  
 4～11日 推薦入学, 帰国子女・社会人特別選抜入学願  
 書受付  
 4～8日 物品定期検査  
 6日 学内バトミントン大会  
 8日 富山県大学長懇話会(高岡短期大学)  
 国立大学学生関係部長・次長協議会(福井医  
 科大学)  
 8～11日 留学生国際シンポジウム(黒田講堂, 富山国  
 際会議場)  
 9日 第3回教養教育委員会実施専門委員会  
 開学50周年記念講演会(富山国際会議場)  
 演題「環日本海周辺諸国との交流と日本の役割」  
 講師 明石 康前国連事務次長  
 9～12日 中部地区管理監督者研修(愛知レクリエーショ  
 ンセンター)  
 10日 北陸地区就職業務担当者研修会(金沢大学)  
 10～12日 教職員文化展(黒田講堂)  
 東海・北陸・近畿地区国立学校等国際交流担  
 当職員研修(名古屋大学)  
 11日 大連理工大学との学術交流協定調印式(学長  
 室)  
 12日 蘭州大学との学術交流協定調印式(学長室)  
 開学50周年記念植樹式(学生部前庭)  
 13日 開学50周年記念式典(富山国際会議場)  
 開学50周年記念祝賀会(富山第一ホテル)  
 富山大学OB・事務系職員懇談会(富山県民  
 会館)  
 15日 第8回評議会(臨時)  
 就職に関する講演会(国家公務員関係)  
 16日 第4回授業料等減免選考委員会  
 第4回教養教育委員会企画専門委員会  
 16～19日 国立学校等幹部職員研修(国立教育会館)  
 国立学校等事務情報化汎用システム導入研修  
 (北海道大学)

- 16～30日 学内ビーチボール大会  
 17～18日 国立大学協会第105回総会(学学生会館)  
 17日 第9回評議会(臨時)  
 第10回評議会(臨時)  
 第5回教養教育委員会  
 就職に関する講演会(就職全般)  
 18～19日 国立大学等研究協力部課長会議(熊本大学)  
 19日 国立大学協会第72回事務連絡会議(学学生会館)  
 学内卓球大会  
 22日 第6回自己点検評価委員会管理運営専門委員  
 会  
 第7回事務協議会  
 学内ボーリング大会(富山ゴールデンボウル)  
 24日 文部省永年勤続者表彰伝達式(学長室)  
 推薦入学, 帰国子女・社会人特別選抜入学試験  
 北陸地区大学学生部懇話会(北陸先端科学技  
 術大学院大学)  
 日本育英会返還説明会  
 25日 特別講演会(黒田講堂会議室)  
 演題「大学における外国語教育の方向につ  
 いて」  
 講師 原島 茂C I Cカナダ国際大学理事  
 国立大学の独立行政法人化問題に関する説明  
 会(経済学部201講義室)  
 勤務時間報告システム説明会  
 第7回国際交流委員会留学生部会  
 26日 第2回部局長会議  
 第2自己点検評価委員会研究活動等専門委員  
 会  
 第5回大学院委員会  
 第11回評議会  
 30日 第11回大学教育検討委員会  
 厚生補導研究会(～12月1日 いこいの村)

## 人 文 学 部

- 11月5日 学部予算委員会  
 10日 学部教務委員会  
 就職に関する説明会  
 15日 学部広報委員会



	学部教務委員会	4日	将来構想等検討委員会（持ち回り）
	学部入学者選抜方法検討委員会	5日	学部国際交流委員会（持ち回り）
	学部特別昇給委員会	8日	総務委員会
17日	教授会	9日	学部教務委員会
	教授会（人事）	10日	人事教授会
22日	学部自己点検評価委員会		教授会
24日	学部将来計画委員会	12日	平成11年度夜間主コース設置大学学部長会議 （KKRホテル東京）
	学部教務委員会		開学50周年記念講演会（201番講義室）
	平成12年度帰国子女・社会人特別選抜入学試験		演題「21世紀日・韓協力構想と環東海圏開発戦略」
30日	学部教務委員会・教務担当者合同会議		講師 金 光洙韓国江原大学校経営学部長
21～22日	第51回国立17大学人文系学部長会議及び第22回同事務長会議（高知大学）	13日	開学50周年記念講演会（富山国際会議場）
27日	教授会		演題「長期不況はなぜ生じたか」
	研究科委員会		講師 篠原 三代平一橋大学名誉教授，文化功労者
<b>教 育 学 部</b>			
11月2日	学部将来計画委員会	16日	学部教務委員会
6日	親子で楽しむマルチメディアコンサート	17日	定員削減対応検討委員会
8日	学部紀要委員会	19日	平成11年度秋季国立12大学経済学部・経営学部学部長及び事務長会議（メルパルク東京）
	附属幼稚園避難訓練	24日	平成12年度推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜入学試験
8～19日	附属養護学校及び附属幼稚園入学願書受付	25日	環日本海地域研究センター運営委員会
9日	学部学生生活委員会	29日	定員削減対応検討委員会
10日	学部図書委員会		学部自己点検委員会
	研究科委員会小委員会	30日	就職指導委員会
	研究科委員会		
	教授会	<b>理 学 部</b>	
	人事教授会	11月1日	学部教務委員会
11日	附属中学校・事務室避難訓練		学部学生生活委員会
16日	教育実習運営協議会	5日	学科長会議
24日	学校教育法の一部を改正する法律と教育学部改革に関する学習会		学部予算委員会
	廃液・排水等の適正な取扱いに関する講習会	9日	理工学研究科博士前期課程理学部会教務検討小委員会
	附属小学校創校記念音楽会	10日	理工学研究科博士前期課程理学部会教授会
	附属中学校校内合唱コンクール（富山県民会館大ホール）		人事教授会
25～26日	就職ガイダンス		理工学研究科博士後期課程部会
26日	学部学生生活委員会	12日	開学50周年記念講演会（黒田講堂）
29日	学部就職指導委員会		演題「科学と裁判」
			講師 鈴木 敏之東京高等裁判所判事
<b>経 済 学 部</b>			
11月1日	将来構想等検討委員会	22日	学部学生生活委員会
		24日	平成12年度推薦入学，帰国子女・社会人特別

選抜入学試験

26日 平成11年度国立大学図書館協議会  
理事会（名古屋大学）29日 第5回附属図書館商議会  
第2回書香編集委員会

## 工 学 部

11月1日 学部案内編集委員会

2日 学部教務委員会

4日 入学試験検討委員会

8日 自己点検評価にかかる検討委員会

9日 国際交流委員会

10日 教授会

専任教授会

理工学研究科博士前期課程工学部会

工学研究科博士後期課程委員会

理工学研究科博士後期課程部会

12日 係長連絡会

開学50周年記念特別講演会（会議室）

演題「ニューロ・ファジー制御システムの  
新展開」講師 マレーシア工科大学人工知能・ロボッ  
ト工学センター長Marzuki Khalid  
教授

15日 将来計画に係る検討委員会

開学50周年記念学術講演会（会議室）

演題「木星で観測される渦運動のシュミレー  
ション」講師 モスクワ物理工科大学一般及び応用  
物理学部長Fedor F.Kamenets教授

16日 係長連絡会

19日 教官懇談会

22日 将来計画にかかる委員会

24日 平成12年度推薦入学、帰国子女・社会人特別  
選抜入学試験

温交会役員会

29日 温交会総会

## 地域共同研究センター

11月4日 大学院生教育講座

10日 第6回運営委員会

17日 第13回経営者・研究者交流会

22日 大学院生教育講座

## 生涯学習教育研究センター

11月4～5日

第21回全国国立大学生涯学習系センター協議  
会（福島市：福島グリーンパレス）

19日 第2回運営委員会

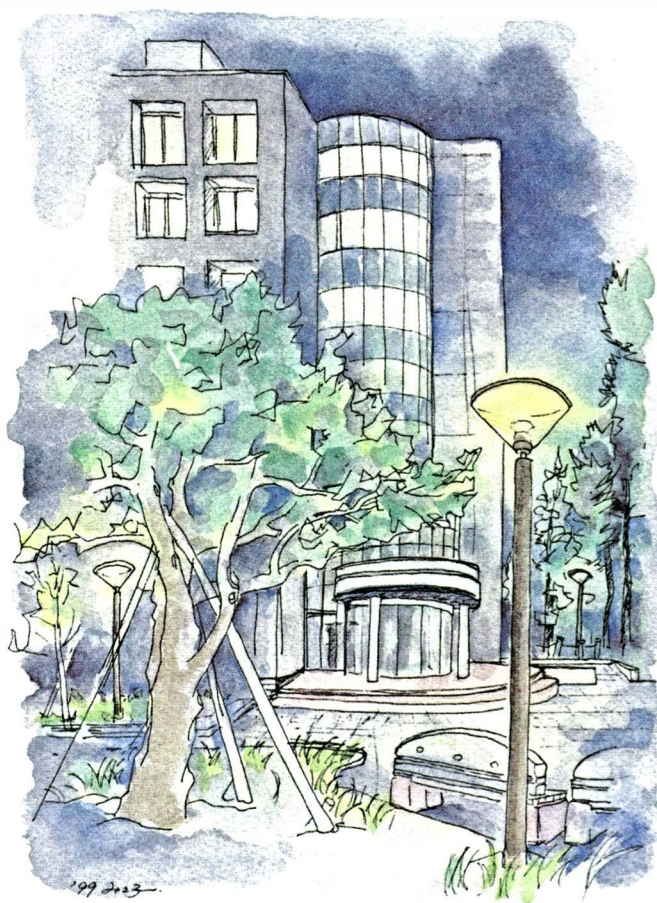
## 附属図書館

11月10日 附属図書館利用説明会

16～19日 中学生の体験学習「14歳の挑戦」6名の受入  
れ18～19日 平成11年度北信越地区国立大学附属図書館  
事務（部・課）長会議（福井厚生年金会館）

19日 文部省ヒアリング

22日 図書館実習生の受入れ（～12月3日）



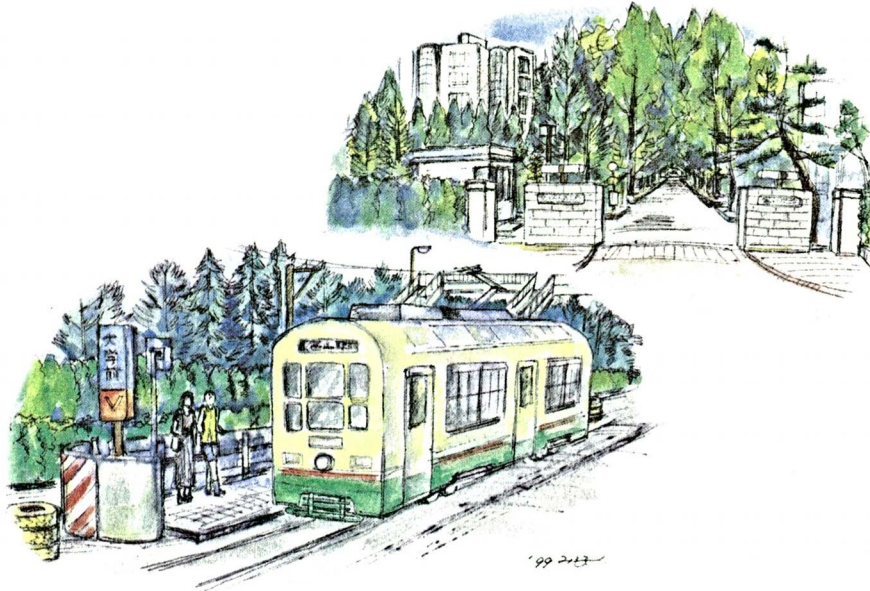
▲開学50周年記念絵はがき

「キャンパス散策」(画 教育学研究科

2年 小野美恵子さん)から

(上) 附属図書館 (中) 経済学部校舎

(下) 理学部校舎



▲開学50周年記念絵はがき「キャンパス散策」(画 教育学研究科2年 小野美恵子さん)から  
(上) 富山大学正門前と市電大学前電停 (下) 富山大学黒田講堂

編 集 富山大学庶務部庶務課 〒930-8555富山市五福3190 TEL.(076)445-6007 FAX.(076)445-6014  
印 刷 あけぼの企画(株) 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL.(076)424-1755 FAX.(076)423-8899